

乗円寺 寺報

2024年 3月
春のお彼岸号
寺報から訊く
寺報No41



発行所: 乗円寺

金沢市石引1丁目4-20
TEL076-221-3421
Fax076-221-3449
mail:info@jouenji.net
印刷協力: 川場印刷

乗円寺 ホームページにも寺報原稿有!
「乗円寺 金沢市」で検索!!

能登半島地震 物故者総追悼法要のお知らせ

3月20日(水)
14時~
乗円寺
本堂・奥座敷
追悼法要
&
昭和歌謡
チャリティー



能登の地震で家族・親戚、知り合いの方、ご実家に被害が出ていらっしゃる方が多数います。何かしてあげたいけれど、なかなかしてあげられることが少ないのが現状です。一度お参りしたい。何かしたい。そのように思われる方、能登と被害に遭った方を想い、一緒にお参りしませんか。

お誘い合わせの上、どなたでもお気軽にご参加下さい。当日はそれぞれのお気持ちで、無理のない範囲の支援金・お布施をお持ち下さい。集まったお金は石川県の能登半島地震災害義援金に全額寄付します。

チャリティーコンサートの出演者

ユニット「チームおせっかい」
医師でテノール歌手の北山吉明さん
ソプラノ歌手の直江学美さん
ピアノ奏者の福島良子さん

昭和の名曲を聴いて、能登・被害に遭った方を想いながら、一緒に時を過ごしましょう。住職もお世話になっている北山先生は、医師として日本臨床スポーツ医学会、日本手外科学会に所属し、スポーツドクターとして活躍されています。歌手としては年に20回程のコンサートを開催・出演されています。

●当日のスケジュール●

14時 開始
阿弥陀経(途中お焼香)
住職法話
正信偈(全員でお参り)
昭和歌謡チャリティー
コンサート
終了 15:40過ぎ
途中参加・退出OK

住職の独り言、能登半島地震

二〇二四年一月一日十六時六分、
能登半島地震が起こりました。

石川県、能登はこの時間を境に、楽しいひと時、日常が一変しました。テレビで被害情報が更新され、時間が過ぎていくたびに、門徒さん、知り合いにも影響が出ていることを知りました。金沢には能登出身の方も数多くいらっしゃる。被害に遭っている方や、心を痛めている方を見ると、見守ることしか出来ない無力感を、誰もが痛切に感じていると思います。

地震発生の時、私はお寺の部屋で放送作業をしていました。一回目の地震が収まった後、佛様が大丈夫かなと本堂の確認に行きました。本堂にいるその時に二回目の地震が来て、今までに経験したことのない揺れを感じ、複数の仏具が大きく揺れ、落ちました。危ないと思いつつも、直後は動けませんでした。お寺を守る僧侶として、本堂、佛様が大丈夫かと見に行くのは当たり前ですが、私と同じ行動を取り、能登のお寺で本堂の屋根の下敷きになり亡くなった僧侶の方が多数いらっしゃる。本堂の屋根には瓦がたくさんあり、その重みで潰れてしまったのです。金沢は震度五強でしたが、能登は最大震度七。金沢でも同じほど揺れていたなら、私もどうなっていたか分かりません。

僧侶になる前に勤めていた会社の元同僚は、能登で被害に遭いました。家は倒壊し、家族と下敷きになり、本人は骨折の重傷、家族も負傷。そしてお子さんを一人亡くされました。なんとも言えない悲しいことで、

掛ける言葉もありません。能登はこれまでも、何度も地震が起こっています。金沢に住み、能登と距離があるものからすると、これからは安全なところに避難して、少しでも不安を少なくして過ごしてほしいと思っています。

ただその同僚はSNSや、私に送ってくれたメッセージで、

「子供が育った土地と、大好きな友達が
いる能登町を必ず復興させたい」

と今の気持ちを教えてくれました。

その大きな目標に向かって、大変なりハビリをし、立ち上がろうとしています。目の前のごとで精一杯だと思えますし、本当に悲しく辛いことだけれども、ここを目標に動こうとしている。この姿に強い覚悟を感じ、勇気ももらいました。私たちは復興に動かれる方の姿を見守る責任、応援する責任があると思います。

下記の言葉は私の部屋の本棚に飾ってある、相田みつをさんの詩です。見るたびに自分の仕事何かを考え、励まされてきた詩です。能登の震災で辛い思いをされている方は、今もたくさんいらっしゃいます。ゆっくり、ゆっくり時間をかけて、一步一步、進むことが出来るように心からお祈りしたいと思います。

その姿を見守ること、応援することしか出来ない私達は、あらためて日常生活を送ることが出来て、家族と過ごせること、毎日動けることに感謝して過ごしましょう。そして、生まれてきた意義と、喜びを問いつながら、生きていきましょう。

たびたびになりますが、心より能登の復興が進むように、お祈りいたします。

南無阿弥陀仏。(住職)

